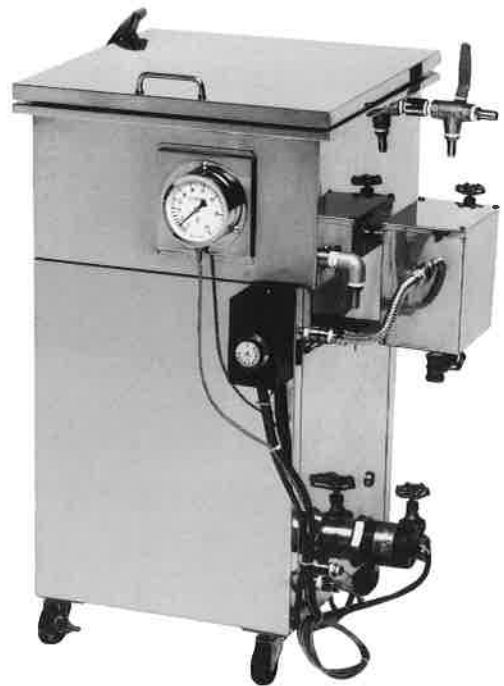


# トビカ蒸気洗浄機

K-2S型

## 操作方法と原理

この蒸気洗浄機は、洗浄槽の底部に溶剤を入れ、ヒーターにより加熱すると溶剤は、沸点（39℃～86℃）で蒸気となって上昇します。その熱蒸気の中に油類等の汚れの付着した被洗浄物を入れると、被洗浄物の冷たい表面に溶剤が凝縮して液となり、汚れと共に槽の底部に戻り、これを繰り返して被洗浄物が完全に洗浄される仕組みです。凝縮しないで上昇した溶剤蒸気は、槽上端の冷却コイルで、凝縮し再生液取入口より水分離器を通り新液として回収されます。



K-2S型

## ●経済的である

## ●浸透力が強い

## ●溶解力が強い

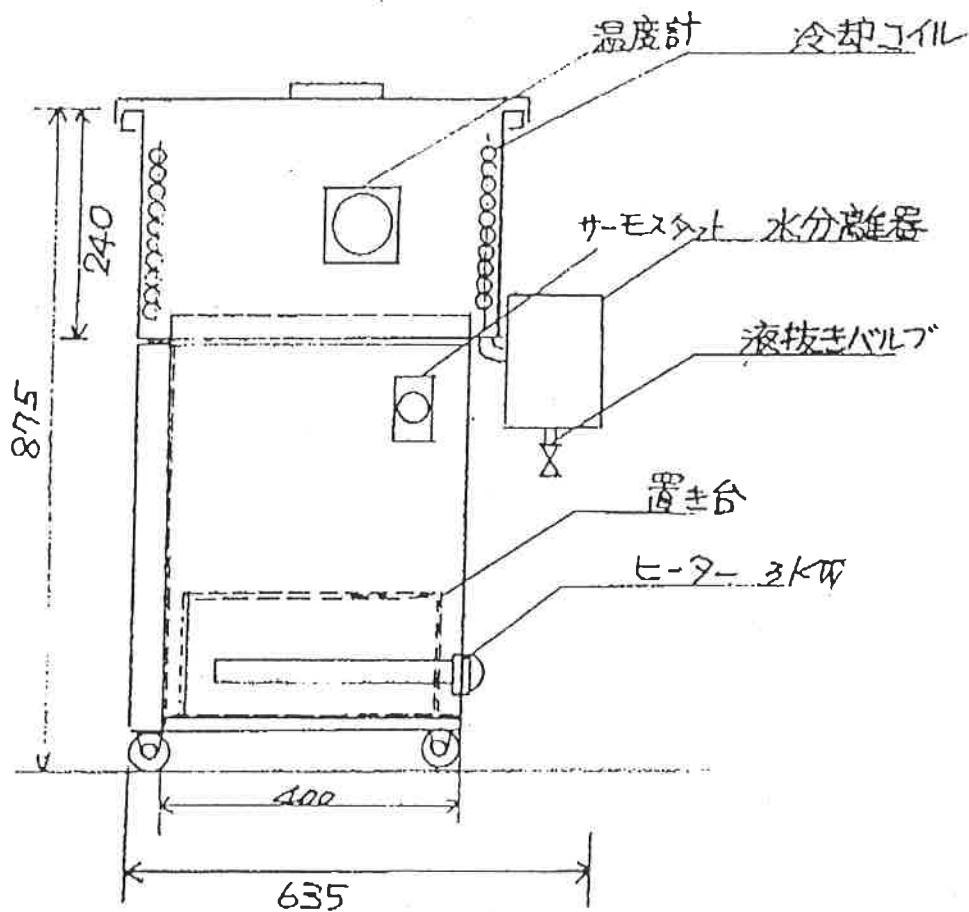
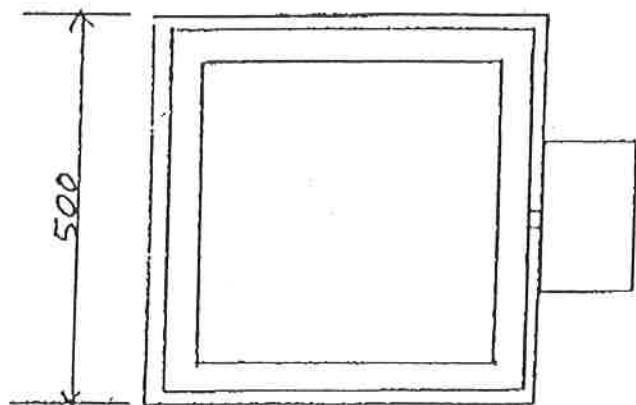
## ●安全性が高い

## K-2S型の特長

- 1. 冷却効果** 高能率な冷却器により完全にガスの凝縮を行ないますので有害ガスの洩れが殆んどありません。
- 2. 作業性抜群** バスケットの出し入れがとて簡単ですから女性でも楽に作業ができます。
- 3. 水分離** 酸化を防ぐために水の除去は行います。K-2S型は効果的な水分離器を装着し完全に水と溶剤の分離をいたします。
- 4. 作業時間の短縮** 短時間にきれいに洗浄できます。洗浄物は完全に乾燥して取り出せますから次の工程にすぐ移せます。
- 5. 再生装置** 汚液の再使用で大幅なコストダウンが出来ます。

## 性能

電源	三相200V 50/60Hz
電力	三相200V 3kw
温度計	0℃～120℃
冷却	工業用水(20℃) 約200ℓ/Hr
温度設定	サーモスタット
溶剤再生能力	約18ℓ/時
槽寸法	内寸 400×400×760 外寸 760×550×800
重量	50kg



						製品品番 又は型式		
材質・寸法		処理・加工		記号		図名		蒸気洗浄機 K-2型
尺度	設計	写真	検図			承認	図番又は 部品品番	

東美化学株式会社

# 単槽式洗浄機使用説明書

本機は溶剤（1,1,1トリクロルエタン及びトリクロルエチレン）を用いて洗浄を行なうことを目的とします。

## ① 装置の構成

- ① 蒸気洗浄槽
- ② 凝縮槽
- ③ 水分分離器
- ④ 附属装置

## ② 各部の構成

- ① 槽内寸法 400×400×860 H
- ② 槽材質 SUS304 1.5 t
- ③ 冷却管 SUS304 16φ
- ④ 加湿ヒータープラグ型ヒーター  
AC200V 2KW×1本
- ⑤ 温調サーモスタット 0～120℃

※ 加湿ヒーターはかならず溶材の下にあるように上になると空焚になります。

## ③ 取扱説明

- ① 洗浄液（トリクレン又はトリエタン）を槽の中に適量入れます。（置台より30%位下位）
- ② 温調サーモスタット0℃→120℃にセットし、15分～20分位で蒸気が出てきたら、槽の中に入っている溶材の沸点より+3℃位にセットする。
- ③ 温調サーモスタットを120℃にセットしたと同時に冷却管に水道水を過水します。槽の横の下方より水道水を入れ、槽の横の上方より水道水を流します。（ホース2本用意する）
- ④ 被洗滌物をバスケットに入れ、置台の上に置きます。
- ⑤ 被洗滌物表面が乾燥した時点で終了です。

※ ベーパー槽内が、溶剤が、沸点時には素手を入れないで下さい。

※ ベーパー槽はヒーターで加熱されていますので、液が減少しヒーターが露出して空焚にならないように注意して下さい。

### ⑥ 水分分離器

洗浄液の蒸気は冷却管で凝縮され液化します。この時、わずかながら大気中の水分も液化されるので分離する為に設けてあります。水分分離器の後方のバルブを開け1ヶ月に一度水抜をして下さい。

### ⑦ 温度計

ベーパー槽の液管理の為にしています。

何日も操作しておりますと溶剤が減少します。かならず加湿ヒーターが溶剤の上になる前に継ぎ足して下さい。この操作を繰り返しておりますと、槽内の溶剤が汚れてきまして本来の溶剤ではなくなってきます。その時温度計のメーターは普通はその時の溶剤の沸点を指しておりますが、汚れの度合いによりメーターは上昇します。汚れの度合いにより交換して下さい。

## 注意事項

一番最初に水分分離器の中に溶剤を入れます。入れる方法は槽上端の冷却コイルの下に「トヨ」がありここに溶剤を入れて下さい。水分分離器が、いっぱいになりますと槽の中ほど上段の穴から溶剤が出てきます。溶剤が出てきたら今度は直接、溶剤を台の下2～3cm位の所まで入れます。このことをやりませんと空焚の原因にもなります。何故ならば、水分分離器の中が「空室」になっておりますと凝縮された液が水分分離器の中に入り、槽の中ほど上段の穴から溶剤がすぐに流れ出ません。その為に空焚の原因にもなりますので水分分離器はいつも溶剤が入っているようにして下さい。

製造元



# 東美化学株式会社

〒132 東京都江戸川区小松川3-6  
TEL: 03(683)5631(代表)  
FAX: 03(637)7877